

## 研修(研究)報告書

令和 4 年 7 月 22 日

玉名市議会  
議長

様

氏名 中村 慎吾



下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。


|          |  |      |      |
|----------|--|------|------|
| 参加議員     | 中村慎吾 浜田繁次郎 田浦敏晴 立川信之 坂本公司 西川裕文<br>中尾嘉男 作本幸男  |      |      |
| 日時       | 令和4年7月19日(火)～令和 年 月 日( )<br>午前・午後 2時00分 ～ 午前・午後 4時30分  |      |      |
| 場所       | リファレンス新有楽町ビル   | 参加者数 | 30 名 |
| 研修(研究)事項 | 質問作成虎の巻  |      |      |
| 概要及び所見   | <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 一目おかれる質疑のポイント</li><li>・ すごいと思われる切り返しのポイント</li><li>・ 必殺キーワードを駆使せよ</li><li>・ 質問後に政策実現するためにすべきこと</li><li>・ ムードに流されない時事、政策の本質を見抜くチカラ</li><li>・ 質問後の広報の効果的な事例</li></ul> <p>所見</p> <p>最初に、議員にとって、一般質問における結果は、「必ずしも、ひとつではない」事を理解しておかねばならない。</p> <p>質問を行うためには、情報収集が重要であり、類似事例の調査や、過去の質疑を調べて、課題の解決策を見出す事が大切である。また、一回で終わらせずに、新たな事実の紹介、角度を変えて再度質問を行う。</p> <p>広報では、自分にしか書けない原稿にし、独自の情報や視点を取り入れる。書きたいことより、読んでみたいと思われる広報を作る。タイトルはとて大きなウエイトとなる。</p> |      |      |

様式 1

# 研 修 ( 研 究 ) 報 告 書

令和 4 年 7 月 22 日

玉名市議会  
議 長 様

氏 名 中 村 慎 吾 

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

|          |  |      |      |
|----------|--|------|------|
| 参 加 議 員  | 中村慎吾 浜田繁次郎 田浦敏晴 立川信之 坂本公司 西川裕文<br>江田計司 中尾嘉男 作本幸男   |      |      |
| 日 時      | 令和4年7月20日（水）～令和 年 月 日（ ）<br>午前・午後 10時00分 ～ 午前・午後 12時30分  |      |      |
| 場 所      | リファレンス新有楽町ビル   | 参加者数 | 30 名 |
| 研修(研究)事項 | 急激悪化地方の財政歳入増加策   |      |      |
| 概要及び所見   | <p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ コロナで悪化する地方財政の課題とは</li><li>・ 自治体財政圧迫の主要因</li><li>・ 決算の必要性と活用事例</li><li>・ ふるさと納税の事例紹介と考え方</li><li>・ 法定外税と地方交付税の関係</li><li>・ 歳入増加策の政策提案</li></ul> <p>所見</p> <p>各自治体は、コロナで企業の業績が悪化し税収が大幅に減少。コロナ対策で財政基金を切り崩し、各種の補助や助成を行っているが、自治体間の格差も生じている。</p> <p>決算のポイントは、予算審議の振り返りが重要。予算の適切な執行や、事業の評価を行い、決算審査の真の目的は、翌年度予算に反映させることが重要。</p> <p>ネーミングライツを公共トイレ等に活用し、維持管理費を減少させる。</p> <p>法定外税は税収効果が大きく、市民以外からも徴収出来る。自治体ごとに内容の違いはあるが、多方面から検討しても良いのではないかと思います。</p> |      |      |

## 陳情（要請）活動報告書

令和4年7月22日

玉名市議会議長 様

氏名 中村 慎吾



下記のとおり、陳情（要請）活動を行いましたので報告します。

|          |  |      |    |
|----------|--|------|----|
| 活動議員・同行者 | 中村慎吾、浜田繫次郎、田浦敏晴、立川信之、坂本公司、西川裕文、江田計司、作本幸男、中尾嘉男  |      |    |
| 日 時      | 令和4年7月20日（水）～令和4年7月21日（木）<br>午後3時00分 ～ 午後0時00分   |      |    |
| 訪 問 先    | 衆参議員会館   | 参加者数 | 9人 |
| 活 動 事 項  | 有明海沿岸道路等の早期整備について  |      |    |
| 訪問先の面会者  | 西野太亮衆議、坂本哲志衆議、金子恭之衆議<br>馬場成志参議、本田颯子参議など  |      |    |
| 内 容      | <p>将来高い確率で起こり得る巨大災害に対処していくためにも、未調査区間の整備が急務であり、とりわけ、災害時における工業製品や農産物等への被害が甚大であると考えられることから「大牟田市（三池港IC）～長洲町」区間に加え、「長洲町～熊本市」区間の整備に向けて、県選出国會議員等に対し、下記事項を主に要請活動を行なった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 有明海沿岸道路全線の国直轄による早期整備。</li> <li>2 有明海沿岸道路「大牟田市（三池港IC）～荒尾市」区間の早期整備を図られること。</li> <li>3 三池港IC連絡路を早期に完成させること。</li> <li>4 大牟田市（三池港IC）～長洲町区間の早期事業化。</li> <li>5 長洲町～熊本市区間の事業化に向けて、「長洲町～玉名市」区間の計画段階評価を実施すること。</li> <li>6 有明海沿岸道路のため必要な予算の総額を確保すること。</li> <li>7 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を計画的に実施できるよう当初予算での総額を確保すること。</li> </ol> |      |    |